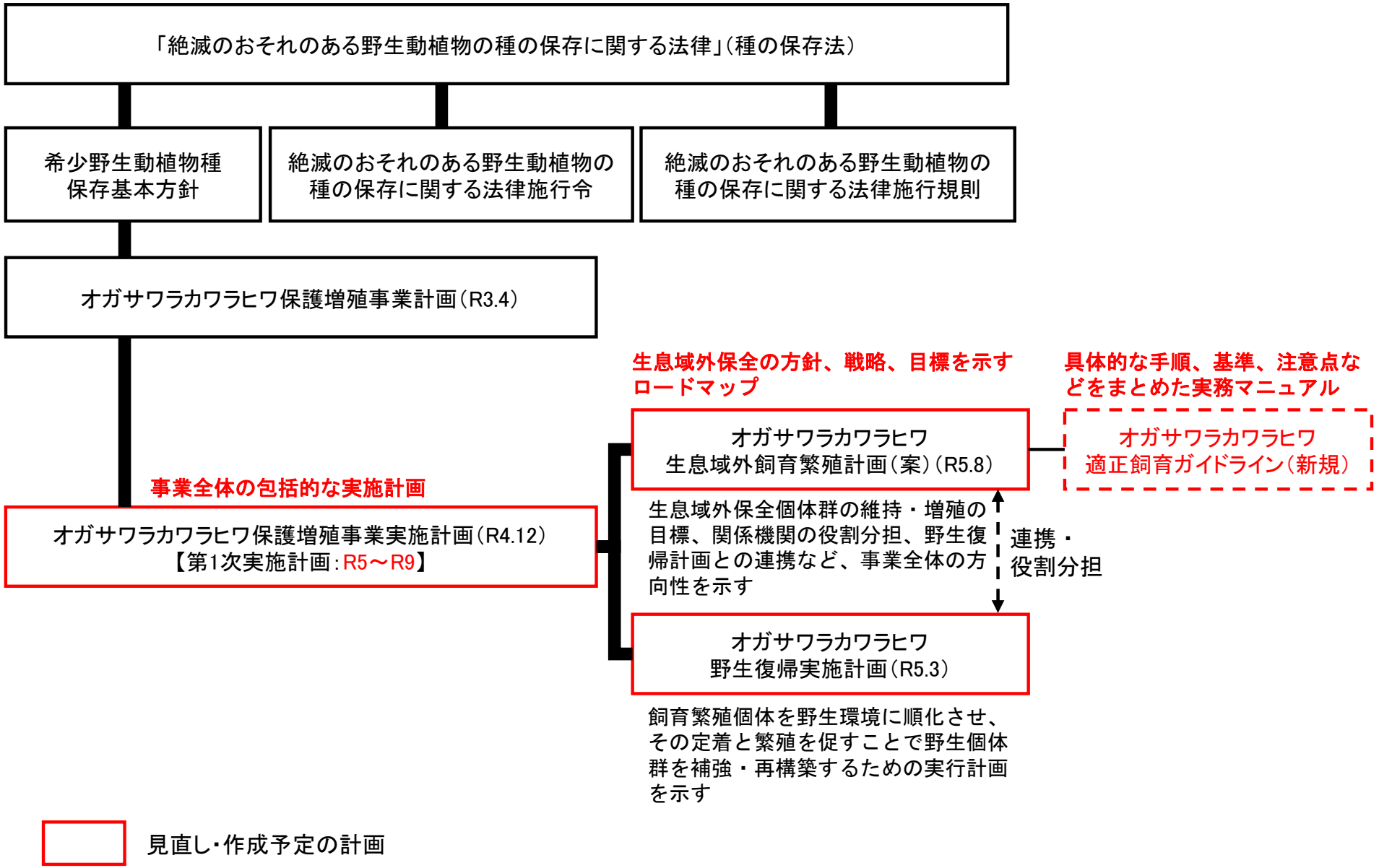
資料4-4

今後の実施方針

計画の更新等について

計画の体系・見直し予定

「オガサワラカワラヒワ保護増殖事業実施計画」に示す文書体系に加筆



想定される見直し内容

計画	更新・加筆内容（例）
オガサワラカワラヒワ生息域外飼育繁殖計画（案） （**飼育繁殖計画**）	• 新たに得られた知見の反映 • 具体的な期間やフェーズ（短期・中長期等）、マイルストーンの設定（個体供給の目標時期　等） • 実施体制と役割分担・連携方法 • 個体群管理の方針（繁殖計画の方針、個体導入・移動・野生復帰の方針と基準） • 野生復帰への個体供給の基準、時期、プロセス • 情報共有の仕組み（共有すべき情報の種類、共有方法、頻度、担当者） など
オガサワラカワラヒワ野生復帰実施計画 （**野生復帰計画**）	• 計画期間とフェーズ • 実施体制と役割分担 • 放鳥地の選定と管理 • 飼育個体の受け入れと順化 • 放鳥後のモニタリングと評価 • リスク管理（放鳥後のリスクと予防・対応策、緊急時の対応） • 計画の評価と見直し（順応的管理のプロセス）　など
オガサワラカワラヒワ保護増殖事業実施計画 （**事業実施計画**）	• 第１次計画の評価・振り返り （目標達成状況の整理（個体数推移、繁殖状況等）、実施した保護措置の効果検証、課題・未達事項の整理） • 現状分析（最新の生息状況調査データの収集・整理、脅威要因（外来種、生息地劣化等）の現状確認） • 第２次計画の全体目標・施策・優先順位 • 実施体制の全体像・連携　など

見直し予定（進め方・検討の場・メンバー・スケジュール）

■検討の進め方(案)

- ✓ 全ての計画の検討は保護増検討会にて実施
- ✓ 検討会とは別に必要に応じて検討の場を設け（作業部会、メール等によるやりとり）、更新の必要性が高い飼育繁殖計画、野生復帰計画を中心に協議
- ✓ 作業部会メンバーはR７臨時保護増会議メンバーを中心に参加していただくことを想定

（ R７臨時保護増会議メンバー）
- 委員（川上委員、高橋委員）
- 東京都（環境局、小笠原支庁）
- 上野動物園
- 小笠原自然文化研究所
- アイランズケア

■スケジュール

時期	作業予定
R8.8.28	計画更新の予定協議（第１回保護増殖事業検討会）
R8.9～R9.1	作業部会の開催
R8.2～3	事業実施計画（案）、飼育繁殖計画、野生復帰計画の更新案の提示（第２回保護増殖事業検討会）
R9	事業実施計画（第２次）の策定